

■カナダ：カナダ企業、米ニューヨーク向けの河底直流ケーブル計画を提案

地元紙は 2010 年 2 月 28 日、トロント拠点の企業トランスミッション・デベロッパー社がラブラドル地方からニューヨークへの送電を目的として 38 億ドルの投資を行い、ハドソン川の下に新規送電ルートを建設する計画であると報じた。この送電ルートは大部分がハドソン川の下に埋設されるものであり、シャンプレーン湖を経由して、ロングアイランド湾周辺及びコネチカット州南西部に送電する河底ケーブルであるという。ケーブルは送電容量 200 万 kW、全長 568km であり、HVDC（直流送電方式）が採用される。また、大部分を河底に敷設することで、環境へのインパクトや地元自治体への影響が最小化されている。同社では、投資を発電端のカナダの再エネ事業者、需要端のニューヨークのコン・エジソン社などから回収したいとしている。なお、このケーブルの利用申し込みはまだ明らかにされていないが、カナダ国内では複数の風力事業者が現在興味を示しているとされ、2014 年末～2015 年初にかけて運用開始したいとしている。